2018.10

第137号

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

目 次

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

# 1 ポートエッセイ

―総会の新潟開催に感謝

港湾が地域振興の先頭に一

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

#### 2 トピック

●ダイヤモンド・プリンセスが復興横断支援幕を掲げて入港

(北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課)

●函館港若松地区クルーズ船岸壁の一般公開

(北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課)

●3度目の正直!ダイヤモンド・プリンセスが石巻港に初寄港!!

(石巻市 建設部河川港湾室)

●「みなとオアシス仙台港」登録証授与式の開催

(宮城県土木部港湾課)

●「仙台港体験・視察セミナー」を開催

(仙台国際貿易港整備利用促進協議会)

- ●「日本遺産『北前船寄港地 酒田』酒田ビッグビーチフェスタ2018」を大浜海岸で開催 (酒田市 地域創生部商工港湾課)
- ●新湊大橋のてっぺんを歩こう! が開催されました

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

- ●第10回「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」&レイラインイベント「FeeL」が開催されました (関東地方整備局 千葉港湾事務所)
- ●新居浜港コンテナクレーン供用式典を開催

(新居浜港務局)

●全国123箇所目のみなとオアシス!みなとオアシスよぶこ

(九州地方整備局 唐津港湾事務所)

#### 3 お知らせ

- ◇本部港クルーズシンポジウム
  - ~本部港におけるクルーズ振興の可能性~(沖縄総合事務局より)
- ◇三河港セミナー2018(中部地方整備局より)
- ◇三河港モーターショー2018in のんほいパーク(中部地方整備局より)

## 1 ポートエッセイ

―総会の新潟開催に感謝

港湾が地域振興の先頭に一

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

今月4、5の両日、日本港湾振興団体連合会の総会が開港150周年を迎えた新潟市で開催され、約100人の方から参加いただいた。ご来賓の国交省港湾局の浅輪大臣官房技術参事官をはじめ、参加された会員・関係者すべての皆さまに、新潟市長として深く感謝申し上げる。ありがとうございました。

#### (新潟西港の朱鷺メッセを会場に)

総会などの会場は新潟西港のシンボル的存在である万代島の朱鷺メッセで開かれた。朱鷺メッセでは過去にG8やAPECの大臣会合などが開催され、来年5月にはG20農業大臣会合も決定をいただいている。

総会に先立って開催された理事会には須野原理事長をはじめ、多くの理事からご参加いただいた。 この日が省庁の副大臣、政務官の人事決定と重なり、下司港湾局長のご臨席が叶わなかったことは残 念だったが、こればかりはやむを得ない。

## (次期開催地は豊橋市)

総会ではすべての議案にご賛同いただき、次期開催地は愛知県豊橋市に決定、佐原市長からご挨拶いただいた。会議の合間には同じ万代島で開催中の「水と土の芸術祭」を観覧いただいた。この芸術祭は、日本一の大河・信濃川と、それに次ぐ水量を有する阿賀野川という2つの母なる川から育てられた新潟の「水と土」の環境を大切にし、後世に伝えていこうとの趣旨で2009年に始まり、3年毎の開催で今回が4回目となる。万代島の旧水産物物揚げ場を多目的屋内広場に改装し、新潟西港をさらなるにぎわい空間とする挑戦の場だ。参加者からはアート作品と共に、屋内広場の空間にも関心を持ってもらった。

#### (まち歩きなど2人が講演)

総会の後には2人から講演いただいた。1人は新潟市歴史博物館の伊藤祐之館長で、新潟港の歴史を中心にお話しいただいた。もう1人は2年前に新潟市で収録いただいた「ブラタモリ」の案内役も務めた、まち歩きの達人・野内隆裕さん。「ブラタモリ」の思い出を交えながら、湊町にいがたの魅力を案内してくれた。

#### (古町芸妓の踊りも披露)

その後の交流会ではフランスで開催中の「ジャポニスム2018」に今月招かれている古町芸妓さんの 舞台も披露され、大いに盛り上がりを見せた。翌日の視察も順調に開催され、無事全日程を終えること ができた。重ねて皆さまのご協力に感謝申し上げる。ありがとうございました。 \*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

## ●ダイヤモンド・プリンセスが復興横断支援幕を掲げて入港

(北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課)

9月6日未明、最大震度7の北海道胆振東部地震が発生し、死者41人、重傷15人、軽傷674人の人的被害の他、建物倒壊、大規模停電等、甚大な被害が発生しました(9月27日時点、内閣府発表資料による)。

犠牲になられた方々とご遺族の皆様にお悔やみ申し上げるとともに、被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

北海道全体が悲しみに包まれる中、9月19日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が、函館港に 入港しました。

この寄港で、お姫様(ダイヤモンド・プリンセス)は、船体に「北海道の復興を応援しています」と記された横断幕を掲げて入港し、道民を優しく励ましてくれました。また、9月30日の小樽、10月1日の函館寄港時にも同じ横断幕を掲げて入港し、北海道観光が安全であることを全国にPRしてくれました。

お姫様、有難う。北海道は頑張ります!! そして全国の皆様、是非北海道にお越し下さい!!



ダイヤモンド・プリンセスの横断幕

(北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課)

北海道開発局 函館開発建設部では、函館港若松地区におけるクルーズ船岸壁整備について、昨年11月から現地着手しておりましたが、この度、4万トン級までのクルーズ船の寄港が可能となりました(将来的には、11万トン級のクルーズ船が寄港可能となる予定)。

これを受け、地元函館港では、10月2日に暫定供用を祝う披露会が準備されていましたが、台風 24 号が接近していたため、これを中止し、10月6日に、函館港の港湾管理者である函館市の主催で、この岸壁の一般公開が開催されました。

当日は生憎の雨天の中の開催となりましたが、参加者からは、「非常にいい施設だ。1日でも早く、完成させて、11万トン級の船も係留できるようにしてほしい。」「近年、クルーズ船が増えて、外国人観光客が増えている印象がある。この施設が利用されれば、朝市などの観光地も近いので、非常にいい施設だと思う。」などの意見があり、大変好評のうちに終了したところです。

北海道開発局では、今後とも地元函館市と連携し、当該岸壁の整備を全力で進めて参ります。



一般公開の様子

●3度目の正直!ダイヤモンド・プリンセスが石巻港に初寄港!!

(石巻市 建設部河川港湾室)

9月18日(火)、大型外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が石巻港に初寄港しました。7月28日と9月5日にも寄港が予定されていましたが、いずれも台風の影響で寄港中止となっただけに、関係者一同この日を待ちわびていました。当日は天候にも恵まれ、石巻港史上最大となる客船の寄港を一目見ようと、平日にもかかわらず多くの市民が石巻港を訪れました。

乗船客約2,700名の約8割が外国人であった今回、岸壁上では、海外でも人気の高い地酒の振る舞いや、地元幼稚園児たちによる石巻港オリジナルうちわの配布等で多くの乗船客の皆様に日本流のおもてなしを堪能していただきました。

出港時は、和太鼓演奏とペンライトによるお見送りで来年の再会を約束しました。夕暮れの空とマッチした「ダイヤモンド・プリンセス」は、優雅で美しく、見送りに訪れた多くの市民もその姿に酔いしれていました。



幼稚園児によるうちわ配布



次の港へ向けて出港

### ●「みなとオアシス仙台港」登録証授与式の開催

(宮城県土木部港湾課)

9月8日(土)、「みなとオアシス仙台港」の登録証交付式が開催され、全国で122番目、東北で16番目、宮城県で2番目のみなとオアシスとして登録されました。

「みなとオアシス仙台港」は、三井アウトレットパーク仙台港やキリンビール仙台工場、仙台うみの杜水族館など13の施設で構成され、レジャー・ショッピング・イベントに加え、癒やしの空間も充実した地域一体型のみなとオアシスです。

登録申請者である「仙台港周辺賑わい創出コンソーシアム」は地域企業や行政機関など19団体で構成され、仙台港周辺地域を発信力のある賑わい拠点とすることを目的として平成29年4月に立ち上げられました。今後の活動の予定としては、仙台港エリア内を歩いて回り、その魅力を再発見してもらうウォーキングイベントなどを計画しています。

授与式では、コンソーシアムを代表して三井物産東北支店加賀谷正樹支店長が、東北地方整備局 渡邉泰也副局長より登録証を受け取りました。

今後、エリア全体でのイベントの開催等により継続的な地域の活性化につながることが期待されます。



登録証授与式

9月11日(火)、仙台塩釜港(仙台港区)において、宮城県・仙台市・仙台商工会議所など官民で組織する仙台国際貿易港整備利用促進協議会は「仙台港体験・視察セミナー」を開催しました。

当日は、宮城県内のほか、岩手県・山形県・福島県・首都圏の荷主企業及び物流関係企業から約70名の方にご参加いただきました。

セミナーでは、会場の「夢メッセみやぎ」で主催者挨拶と仙台塩釜港の概要説明後、バスで仙台塩釜港の現地視察を行いました。

フェリーやクルーズ船、自動車運搬船のほか、高砂コンテナターミナルでは管理棟屋上から全景をご 覧いただき、また岸壁では荷役作業のデモンストレーション、コンテナの展示を行いました。

最後に、横浜税関仙台塩釜税関支署様及び塩竈港運株式会社様から、仙台塩釜港の貿易概況や 通関実務についてご講演いただきました。



高砂コンテナターミナル管理棟屋上



荷役作業デモンストレーション

●「日本遺産『北前船寄港地 酒田』酒田ビッグビーチフェスタ2018」を大浜海岸で開催 (酒田市 地域創生部商工港湾課)

9月2日(日)に酒田港大浜海岸で「酒田ビッグビーチフェスタ2018」が開催されました。

酒田ビッグビーチフェスタは、国土交通省、山形県、酒田市、関係団体等で組織する「海の日」記念 事業実行委員会が3年前から実施しており、今年は北前船の西廻り航路を開拓した河村瑞賢生誕40 0年を記念しての開催となりました。

当日はビーチバレーボール大会や、家族対抗はだし運動会のほか、シーカヤックやスラックラインの体験などのメニューも実施され、家族や友人同士でビーチでの遊びを満喫しました。

また、酒田港風力発電事業者協議会が、風力発電施設見学会やペットボトル風車工作体験を実施し、参加者は風車の仕組みを学びました。

最後に、いつでもはだしで走り回れるビーチになるように、参加者及び関係者でビーチクリーンを行いました。当イベントを通して、参加者が思い思いに海の楽しみ方を学ぶ一日となりました。





ビーチバレーボール大会

家族対抗はだし運動会

# ●新湊大橋のてっぺんを歩こう! が開催されました

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

9月23日(日)に富山新港開港50周年記念事業の最後を飾る「新湊大橋のてっぺんを歩こう!」が開催されました。

今回のイベントは、普段、車しか通ることのできない新湊大橋の頂上付近(主塔間約400m)を歩いて楽しむものです。

当日は秋晴れのもと、抽選で選ばれた約3,000人の参加者が特製ガイドマップを手に、橋の上からみなとや立山連峰を見渡したり、海王丸パークで開催されている「とやま帆船フェスタ 2018」のために寄港している「帆船みらいへ」と「帆船海王丸」が並んで帆を広げている姿を眺めたりと、眼前に広がるパノラマ風景を楽しみました。

このほか、富山新港周辺のベイエリアは「秋のファミリーフェスティバルin海王丸パーク 2018」や「海老江曳山まつり」、「新湊東部商工フェア」が開催されており、多くの人で賑わいました。



新湊大橋を歩く参加者



新湊大橋からの風景





みらいへ(左)と海王丸(右)

秋のファミリーフェスティバル in海王丸パーク

●第10回「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」&レイラインイベント「FeeL」が開催されました (関東地方整備局 千葉港湾事務所)

9月23日(日)、木更津市内の内港公園(出島)や鳥居崎公園にて第10回「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」&レイラインイベント「FeeL」が開催され、12,000人の方が来場されました。

関東地方整備局千葉港湾事務所では、清掃兼油回収船「べいくりん」の体験乗船と「べいくりん」の活動内容を紹介したパネルや「べいくりん」の模型を展示しました。

船内見学では、操舵室で船について熱心に聞き入る様子や、大きなスキッパー(ゴミ回収装置)が動く姿を見て驚く様子などが見られました。展示ブースでは浮遊ゴミの回収方法について模型を動かして説明しました。「べいくりん」が活動する範囲や過去に回収されたゴミの例、台風による大雨後に回収した流木や回収実績などをパネルで説明し、海洋環境整備事業についてご理解いただきました。当日は、千葉日報のマメ記者が取材に訪れ、「べいくりん」の活動内容について熱心にメモを取っていました。



関東地方整備局のブースの様子



船内見学の様子



取材を行う千葉日報のマメ記者

# ●新居浜港コンテナクレーン供用式典を開催

(新居浜港務局)

四国の中央に位置する新居浜港は、今後増加する国際フィーダコンテナ取扱量に対応するため、コンテナクレーンを港湾機能高度化施設整備事業により平成29年度から2カ年で整備しました。作業効率と安全性の向上をめざし、荷役時間短縮(現行約16TEU/時間→約25TEU/時間)、輸送コスト低減、コンテナ船大型化への対応等を図りました。

10月1日の供用式典には約50人が出席、市長挨拶に続き関係者によるテープカットでクレーンの完成を祝いました。



式典でのテープカットの様子



新たに配備されたクレーン

(九州地方整備局 唐津港湾事務所)

9月16日(日) 呼子台場みなとプラザにて、登録証交付式が執り行われました。今年で23回目を迎える「呼子町イカまつり」と併せて開催され、会場は多くの人で賑わいました。

呼子は、「呼子イカ」や日本三大朝市の一つに数えられる「呼子の朝市」など全国的にも高い知名度を誇りますが、この他にも鯨組主中尾家屋敷をはじめとした歴史的建造物、毎年6月に開催される国指定重要無形民俗文化財の「呼子大綱引」などの昔ながらの町並みや文化があり、また遊覧船による洞窟巡りや自然のまま泳ぐ魚が見られる海中展望など豊かな自然を体験できる魅力がたくさんあるところです。

このように観光地としてのポテンシャルの高い港町ですが、今回のみなとオアシス登録をきっかけに 今後ますますの発展が期待され、地域の活性化に資する「みなと」として重要な役割を担っていくのだと、 地元も大いに盛り上がっていました。



記念撮影 呼子のゆるキャラ ケンちゃん・サキちゃんも♪

### 3 お知らせ

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

## ◇本部港クルーズシンポジウム

~本部港におけるクルーズ振興の可能性~ (沖縄総合事務局よりお知らせ)

【開催日時】 10月27日(土) 14:00~17:00

【場 所】 本部町会館(本部町渡久地4番地)

【主 催】 本部町・沖縄県・内閣府沖縄総合事務局

【後 援】 北部振興会

【概 要】 2017年、本部港が国際クルーズ拠点として位置づけられたことを踏まえ、北部地域全体で拠点形成に向けた機運を盛り上げるとともに、クルーズ船に関する行政、民間及び地域住民など相互の理解促進と本部町をはじめとした北部圏域のPR・認知度アップを図ります。

第1部:基調講演「クルーズ船寄港を通じた地域振興」

講演者:杉本 健次 氏((株)JTB沖縄 代表取締役社長)

第2部:パネルディスカッション

「本部町・北部圏域におけるクルーズ振興と課題」

コーディネーター:大谷健太郎氏(名桜大学 上級准教授)

パネリスト:平良 武康 氏(本部町長)

山本 三夫 氏((一財)みなと総合研究財団クルーズ総合研究所所長)

小島 博子 氏 ((株)EGL OKINAWA 代表取締役)

前田 裕子 氏(前田産業ホテルズ代表取締役社長)

大城 逸雄 氏 (那覇バス(株)・(株)琉球バス交通 常務取締役)

【問合せ先】 内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課 TEL:098-866-1906

[U R L] http://www.ogb.go.jp/

◇三河港セミナー2018 (中部地方整備局よりお知らせ)

開催日時】11月1日(木) 16:00~17:30

【場 所】ホテルアークリッシュ豊橋

【概 要】コンサルタント業者及び荷主企業様による中部経済・貿易の動向及び三河港の コンテナ物流に関する講演

◇三河港モーターショー2018 in のんほいパーク(中部地方整備局よりお知らせ)

【開催日時】11月10日(土) 9:30~16:00

【場 所】豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」(豊橋市大岩町字大穴1-238)

【概 要】三河港を利用する国内外のブランドを中心とした車両の展示・試乗及びミニ 四駆イベント等を開催します。

【その他】一部有料のイベントがあります。また、豊橋総合動植物公園入園料及び駐車場 料金が別途かかります。 【問合せ先】三河港振興会 Tel: 0532-34-0130

【U R L】 http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/61243.htm#moduleid43598 ※10/26より閲覧可能





昨年度のモーターショーの様子

\*:\*:\*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先:\*:\*:\*:\*:\*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL: 03-5776-0630 FAX: 03-5776-0631

e-mail:bcf06323@nifty.com

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*: